

廃プラスチック削減

農作業省力化

生分解性マルチの実証試験を実施中

銚田市農業振興協議会では、かんしょにおいて、農ポリマルチから生分解性マルチへの転換に向けた実証試験を始めました。

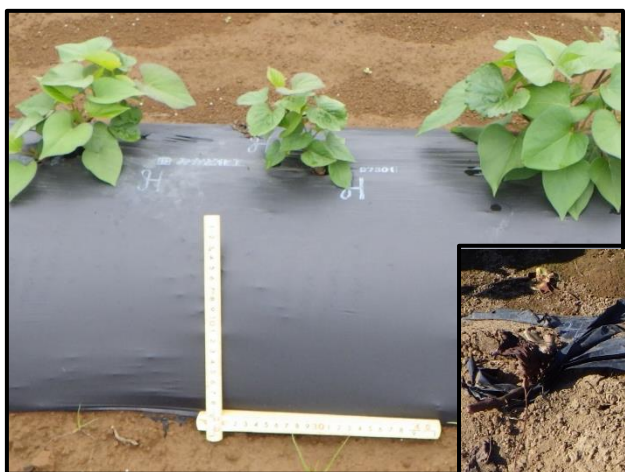
分解スピードが異なる生分解性マルチを比較して、銚田市のかんしょ栽培土壌に適した種類を選定するとともに、作業時間や栽培後の飛散程度等の調査を行います。

◇ 生分解性マルチとは？

- ・ 土壌中の微生物によって分解されるマルチ資材
- ・ 栽培後は土壌にすき込み、最終的に水や二酸化炭素に分解

◇ 活用により期待されることは？

- ・ 農作業の時間短縮、省力化
- ・ 廃プラスチック処理労力・費用の削減、環境負荷の低減



マルチ展張50日後→展張159日後（写真提供元：茨城県農業総合センター農業研究所）
※分解程度は、生分解性マルチの種類、栽培条件によって差が生じます。

【問合せ先】 実施主体（事務局）：銚田市役所農業振興課 TEL:0291-36-7651
調査・技術対応：茨城県鹿行農林事務所 TEL:0291-33-6197